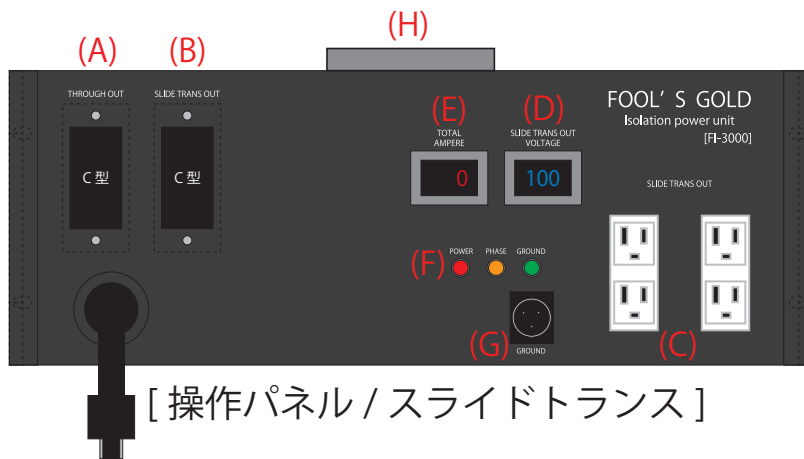
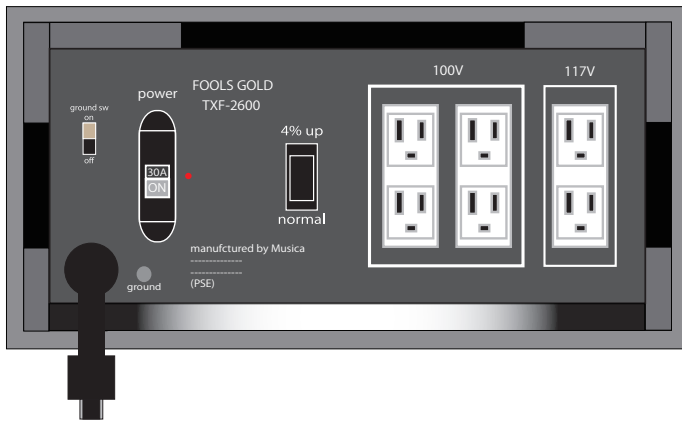


FI-3000 取り扱い説明書

[TXF-2600]= アイソレーショントランス



[操作パネル/スライドトランス]

- (A)THROUGH OUT(C型)
- (B)SLIDE TRANS OUT(C型)
- (C)SLIDE TRANS OUT(コンセント)
スライドトランスの直接出力です。
- (D)電圧メーター
スライドトランス出力の電圧値を示します。
- (E)電流メーター
FI-3000入力段のトータル電流容量を示します。
- (F)LED
入力段の電源状況が目視で確認できます。
- (G)GROUND端子 XLR
外部からのGROUNDを接続する端子です。
- (H)スライドトランス
電圧を設定します。

[使用方法 手順]

(1)TXF-2600 の入力 C コネクターを選択して操作パネルに接続します。

(A)THROUGH OUT(C型)

スライドトランスを通さずに、TXFを使用します。

TXFのみを使用したい、電圧のリアルタイム調整が必要でない場合、こちらを使用下さい。

(B)TRANS OUT(C型)

スライドトランスを通してからTXFを使用します。

電圧のリアルタイム調整が必要な方は、こちらを使用下さい。

(2) 操作パネルの入力 C コネクターを会場の C コネクター口に接続します。

この状態で [操作パネル/スライドトランス] が通電します。

(3) 操作パネル (D) に表示された電圧値をみながら (H) のスライダーで 100V に設定します。

(4) 操作パネル (F) に表示された LED で入力電源の状況を確認下さい。

| | | |
|------------|------------------|-----------------|
| ● 赤 / 入力電圧 | ● 橙 / 電源位相 | ● 緑 / グラウンド・アース |
| 有り = 点灯 | 正相 = 消灯 | 接地 = 点灯 |
| 無し = 消灯 | 逆相 = 点灯 (もしくは点滅) | 非接地 = 消灯 |

通常の接地付き商用電源(单相3線)の場合は

● 点灯 ○ 消灯 ● 点灯

(5)TXF-2600 のブレーカーを ON にします。

この状態で [TXF-2600] が通電します。出力電圧を以下の手順で調整下さい。

(A)THROUGH から TXF-2600 を取っている場合・・・スライドトランスでの電圧調整は出来ません。

電圧降下の補正は [4% up]SW のみとなります。

*[4% up]SW を操作する場合は、必ず TXF-2600 のブレーカーを OFF にしてから操作して下さい。

通電中に SW を操作すると、分電盤のブレーカーが作動したり、音切れ、

デジタル機器においては初期化の恐れがあります。

(SW はトランスのタップ接続を機械的に行なっております。通電したまま操作を行うと

SW 接点部に瞬間的な突入電力、または瞬間的な無通電が発生します。)

*[4% up]SW は 3 接点スイッチを採用しております。スイッチの真ん中は電圧出力がありません。

誤って通電中に操作した場合の SW 保護用の中点です。ご注意ください。

(B)TRANS OUT から TXF-2600 を取っている場合・・・スライドトランスで電圧調整を行なって下さい。

(6)TXF-2600 のコンセントに負荷機器を接続して使用して下さい。

*100V の機器を 117V 出力に接続しないようにご注意ください。

(7) 使用終了時の操作

・負荷機器の電源を OFF にして下さい。

*高負荷機器を順次 OFF にしていくと、

スライドトランスで補正した分の電圧が上がっていく場合があります。

その場合は随時スライドトランスで電圧を下げて調整しながら機器を OFF にして下さい。

(一般的に機器の許容電圧は 100V±10% 程度です。)

・TXF-2600 のブレーカーを OFF にして下さい。

・操作パネルの入力 C コネクタを抜いてください。

[その他の注意事項]

○入力はなるべく C 型コンセントをご使用ください。

30A の分電盤ブレーカーに接続下さい。

TXF-2600 の WB 複巻トランスは、非常にインピーダンスの低いトランスを使用しております。これにより、発熱、外来ノイズからの悪影響を受けない、質の高い電力を生み出しております。また許容電力は 30A と大容量です。

15A～20A の分電盤ブレーカーでも使用できますが、その場合はトータル容量もブレーカー容量に制限されます。老朽化したブレーカーにおいては、稀に通電の際にブレーカーが作動してしまう事があります。電源波形のピーク時の突入電力によるものです。

TXF-2600 自体には突入電力防止回路が入っておりますが、基本的にトランスの容量と同等のブレーカー 30A を前提に設計されております。容量の低いブレーカーで作動してしまった場合は、再度通電し直して下さい。

○TXF-2600 の出力電源には位相がありません。

WB トランスにより一次側から電氣的に切り離されます。(アイソレーション、フローティング) 一次側に存在した N 極 (ニュートラル) が無くなります。これによりノイズループから解放されます。二次側の出力は独立してしますので、位相が無くなります。本機はグラウンド極に対してセンタータップ (50V-50V バランス接続) をとっておりますのでテスターで位相を測っても 50V-50V になりますが、正常動作です。

株式会社 FOOL'S GOLD

東京都国立市富士見台 4-5-10-503

042-511-9937

<http://www.foolsgold.jp>

ask@foolsgold.jp